

令和6年度 資源循環局 運営方針

I 基本目標

令和6年度は、横浜市中期計画2022～2025の折り返しであり、「子育てしたいまち 次世代を共に育むまちヨコハマ」の実現に向け、新たな一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ プラ5.3計画」のもと、脱炭素化を強力に推進し、将来を担う子どもたちに良好な環境を引き継ぐ施策に取り組めます。

■ 脱炭素社会の実現に向けた取組の推進

市民・事業者・行政が丸となって、プラスチックの発生抑制や分別・リサイクルを進めることにより、脱炭素化への行動変容に向けたムーブメントを広げ、「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成につなげていきます。

■ 安心・安全・安定なごみ処理の推進と多様な社会ニーズへの対応

ごみの収集・運搬・処理・処分をいかなる時も着実にを行うとともに、計画的な施設整備を推進し、市民生活と市内経済の安心安全を支えます。また、ごみ出し支援やまちの美化対策、災害対応など多様な社会ニーズに着実に対応します。

■ 財源創出に向けた取組の推進

「財政ビジョン」「中期計画」「行政運営の基本方針」に基づき、持続可能な廃棄物行政の運営に向け、ごみの焼却によって得られる発電収入の増加、事務所等の施設における屋外広告物の掲出、ネーミングライツ、企業協賛、土地の利活用、DXの推進等、多様な視点から財源創出に取り組めます。

II 目標達成に向けた施策

重点施策	主な取組・内容
プラスチック対策 (政策19)	○プラスチックごみの分別・リサイクル拡大に向け、新たにプラスチックのみでできた製品を加えた「プラスチック資源」の収集を10月に9区で、令和7年4月から全18区で開始 ○様々な手段・媒体を通じた新しい分別ルールの浸透と、脱炭素化に向けた市民・事業者・行政の行動変容の促進と「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成 ○事業者による自主回収・店頭回収の取組状況の発信や、発生抑制・リサイクルに向けた事業者への働きかけと支援等の実施
食品ロス削減 (政策19)	○「食」を大切にする価値観が醸成されるよう、季節行事に合わせた啓発や子どもたちが楽しみながら学べる出前教室など、食品ロスの削減に向けた具体的取組の実践につながる働きかけの実施 ○様々な業種・形態の事業者や関係団体と連携した取組や、食品ロス削減に積極的に取り組む事業者等の活動内容の発信
環境学習・普及啓発 (政策19)	○子ども・若者・大人など様々な世代を対象とした環境学習を推進し、各世代で継続的に学ぶ機会を提供するとともに、対面やデジタルの活用など対象者に合わせた普及啓発の実施 ○関係部署と連携した環境学習や普及啓発の取組、「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成など、様々な媒体を利用した積極的な情報発信
多様な社会ニーズへの対応 (政策19・25・35)	○高齢化に伴うごみ出し支援、申請手続等のデジタル化、近年頻発している大規模な災害への備えなど、多様な社会ニーズに対する着実な対応 ○清潔できれいなまちづくり推進のため、喫煙禁止地区での巡回指導のほか、受動喫煙対策を加えたパトロールを、関係局と連携し市内主要駅周辺で実施
安定したごみの収集・運搬・処理・処分 (政策19)	○安全で安定した、ごみの収集・運搬・処理・処分の着実な実施 ○粗大ごみ収集の受付におけるデジタルツールの活用や資源集団回収オンラインシステムの運用を開始し、利用者の負担軽減・効率化 ○焼却工場や資源選別施設等の廃棄物処理施設における計画的な補修・更新の実施
将来を見据えた施設整備 (政策19・38)	○保土ヶ谷工場の再整備の着実な推進と新たな中継輸送施設の建設 ○金沢工場の延命化に向けた、長寿命化工事の契約と工事着手に向けた準備 ○老朽化が進む焼却工場や資源選別施設、検認所等の計画的な更新に伴う事業費の縮減・平準化に向けた調査・検討の推進 ○ごみの焼却に伴い発生する熱・電気などの環境にやさしいエネルギーの創出・利活用、省エネ、脱炭素技術の導入の検討など、市内での脱炭素化に向けた取組の推進

()内は横浜市中期計画2022～2025の政策番号

III 目標達成に向けた組織運営

「課題の認識」と「コミュニケーションの活性化」

現在の社会情勢から見た課題、業務を進めていく中での課題を、責任職と職員がしっかりと共有・認識します。課題解決に向けた目標を明確にし、組織の中で十分にコミュニケーションをとり、職員一人ひとりの目標達成につなげていきます。

職員の意識改革・やりがいの向上に向けた人材育成

資源循環局のすべての職員が、仕事のやりがいを高め、成長を実感できるよう、責任職が計画的な人材育成に取り組めます。また、現場職員や若手職員が、積極的に企画・提案を出し合える環境づくりに取り組めます。

凡事徹底

ワークライフバランスの推進、事故や公務災害の防止等の安全対策の徹底、事務処理ミスや不祥事の防止等、当たり前のことを徹底してやり抜き、市民の皆様からの信頼と期待に応えます。

チーム力の向上